

湯浅町成長戦略特別参与委嘱式を行いました

【まちづくり企画課まちづくり企画係 ☎64-1112】

本町では、町の将来を見据えた成長戦略の展開を図るとともに、賑わいに満ちたまちづくりを進めるため「成長戦略特別参与」を設置することとし、次の4名を任命しました。「成長戦略特別参与」は、本町のまちづくりに対する提言を行うことに加え、都市ブランドのイメージアップと知名度向上、町の魅力を国内外に広く発信していくことを目的としたものです。

■委嘱を受けた4名

- 上野 祥弘 氏（和歌山市在住、54歳、会社経営者）
- 寺村 公博 氏（町内在住、46歳、会社経営者）
- 大和杉 新 氏（町内在住、41歳、会社経営者）
- 松原 大輔 氏（町内在住、37歳、会社役員）



（左から松原さん、大和杉さん、中副町長、上野さん、寺村さん）

委嘱式終了後、特別参与の皆様方と

副町長の間で意見交換が行われました

副町長 以前から町

長と話していたのですが、全国各地で商売をしている人達が、仕事で名刺を使うときに、せっかくだから湯浅町のPRを行っていただければいいじゃないかという発想から特別参与を設置しようということになりました。

特に若くて行動力のある人をお願いしたいと考えていましたので、本日お集まりの皆さんにお願ひすることになりました。

皆さんは、今までの湯浅を見てきて、どうお考えですか。また、これからのようなことをやっていけばいいと思いますか。

大和杉さん ふるさと

納税推進に少し関わら

せてもらったときに、

業者すべて委託する自治体もありますが、あまりよくないのでないかと思いました。私は、できるだけ地元の農家さんや漁業関係者、小規模事業者、家族経営のお店に関わってもらいながら、直接インターネットでやりとりしたほうがよいと考え、提案しました。

よく湯浅町にはお土産物があるからいいと言われたりしますが、そうではありません。特産物などを活かした商品を作るなど創意工夫してきたのです。また、なかなかお客さんが少ないなら、ふるさと納税という枠組みの中に

出店してはどうかと町内業者と話をして、たくさんの方々に協力し

てもらっています。

昨年、本町にふるさと納税された額が大幅な増加となり手ごたえを感じていますが、目標はもっと高くもつていきます。ふるさと納税推進による経済の活性化を図るためには、私たち商売人が、考え方や人脈を活かして協力していく必要があると考えています。

上野さん ふるさと納

税を伸ばそうと思つたら、他府県に積極的にPRする必要があります。また、実際に湯浅に来てもらうことも大切で、和歌山県で唯一の建地区である伝統的な町並みを歩いてもらいたいですね。歴史を活かした全国的なサミット開催などもいいと思います。

寺村さん 商売をする

上で売り上げを伸ばすのはとても大変なことです。しかし、実現できれば雇用創出にもつながりますので、様々な業種の方々と意見交換しながら、一番よい方法を探していければと考えています。

松原さん 今、外国人に益裁が流行っているそうです。何がブームになるかわかりませんが、大勢の方々と意見交換することはとても大切だと感じています。

副町長 思う存分

いろいろやってもらいたいと思います。失敗を恐れていたら何もできないですから。そんな考え方で取組んでもらえればと思います。